

つながろう「人」と「人」

目かくしトーク

—見る・話す・聴くを考える—

(120分)

【対象者】

高校生、保護者や成人一般
20人～40人程度

【関連する視点・課題】

コミュニケーション能力

ねらい

「目かくしをして話す・聞く」体験を通して、安心できるコミュニケーションについて考えます。そして、「円滑なコミュニケーション」に関する「気づき」から「行動」を導き出すためのスキルを身につけることを目的にしています。

準備

○ワークシート ○サインペン ○アイマスク ○付箋紙
○テープレコーダー又はCDプレーヤー

アクティビティの実際

導入
(15分)

アイスブレイキング

「おにの頭文字」

4～6人のグループをつくります。

自分の名前の頭文字で始まる「自分をプラスに表現する形容詞」を考え、付箋紙に記入します。

グループ内で、自分で考えた形容詞を名字と名前につけて、互いに自己紹介をします。

例) 山田 豪(仮名)

(**優**しさ満点、**頼**れる人物、 やまだ たけしです。)

①や

②た

展開
(80分)

目かくしトーク

- 1 BGMを流して落ち着いた雰囲気をつくります。参加者は、1つの円になるよう丸く座ります。
- 2 全員が目かくしをして、その場から円の中に向かってゆっくり歩きだし、音楽が止まったところで手を広げて、最初にふれた人とペアをつくり、その場に座ります。
- 3 最近の出来事から「うれしかったこと」「悲しかったこと、いやだったこと」「この前の休みの日にしたこと」をそれぞれ一つずつ決めます。

- 4 3つのパターンで会話をし、安心できる会話について考えます。話す時間は一人2分です。
- (1)「うれしかったこと」について、互いに目かくしをしたまま会話をします。聴く側は、声を発してはいけません。
- (話し手・聴き手交代)
- (2)「悲しかったこと・いやだったこと」について、話し手は目かくしをして話します。聴き手は、目かくしをはずして聞き、言葉を発してもかまいません。
- (話し手・聴き手交代)
- (3)「この前の休みの日にしたこと」について、互いに目かくしをはずして会話をします。
- (話し手・聴き手交代)
- 5 気づいたことや感じたことを(1)～(3)のパターン別にワークシートに記入し、2人で話し合います。
- 例) 互いが、安心できる会話とは、どのようなものか、意見を出し合う。
- 6 ペアを変えて「安心を図る試み」の体験をします。
- 話し手は、目かくしをし、聴き手は目かくしをはずして「相手を安心させる試み」をしながら、聴くようにします。
- 7 話し手・聴き手の目かくしをはずして会話をします。
- 8 最初のペア、次のペアと話したときの感想や気づいたことについて何人が発表します。

ふ り 返 り
(25分)

ふ り 返 り

- 自分の感じたことをワークシートのふり返り欄に記入します。目かくしをした状態と目かくしをしない状態での会話を比較して、話し合います。
- 例1)「安心を図る試み」とは、どんなことが気づきましたか？
- 例2)「相手を安心させる試み」とは、どんなことが気づきましたか？
- 例3)あなたは、これから、どのように話し、聴こうと思いますか？

ポイント



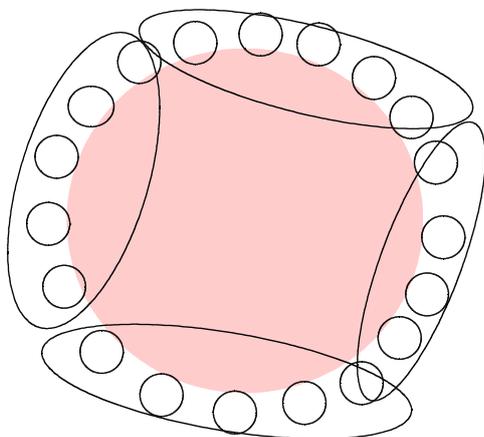
- 「安心感」とは、相手のどのような関わりや言葉かけから生まれるのかを考えるようにします。
- 「聴いてもらえる」ということで「安心感」があり、相手を見ることで人と「安全」に関わることができることに気づくようにします。
- 「視覚」にたよりすぎていないか考えさせます。また、「聴覚」など、他の感覚を研ぎ澄ますことの大切さにも気づかせるようにします。障害のある人に対する配慮も考えられるようにします。
- 「聴き手」と「話し手」ともに“相手に伝わること”にポイントを置き、姿勢・話すスピード・声のトーン等の工夫を促します。

【応用・発展のために】

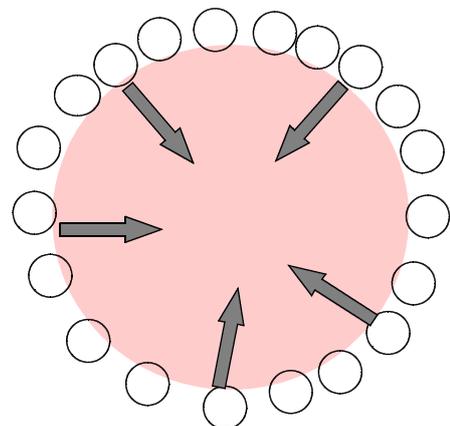
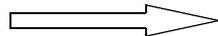
- このように、相手に対してプラスの言葉かけや相手が安心できる聴き方・話し方のスキルが大切です。対立関係に陥ったときなど、自分自身をふり返り、相手の立場に立った話し方を工夫すること、また、一方的に非難することなく、自分の意見はしっかり主張することができるようにすることは、人権感覚を高める上で大変有効といえます。

会場の配置図

会場設定及びグループ配置

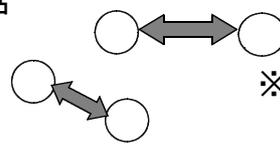
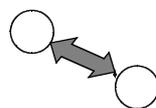


- (1) アイスブレイキング
「おにあいの頭文字」
4～6人のグループを作る



- (2) 目かくしトーク
手がふれた人とペアをつくる
ペアの交代もある

- (3) ペアでの会話



- ※目かくしをする
目かくしをはずす

「目かくしトーク」ワークシート

※ 気づいたこと、感じたことを記入しましょう。

- 1 「うれしかったこと」について（話し手、聴き手ともに目かくし）

話し手	聴き手	安心の試み

- 2 「悲しかったこと・いやだったこと」について（話し手は目かくし、聴き手は目かくし無し）

話し手	聴き手	安心の試み

- 3 「この前の休みの日にしたこと」について（話し手、聴き手ともに目かくし無し）

話し手	聴き手	安心の試み

- 4 次のペアとの会話

話し手	聴き手

- 5 ふり返り

安心の試みとは、
相手を安心させる試みとは、
私は、